

編集委員会便り

本学会の日頃の活動は研究会、講習会、研究発表会などの企画運営を行う企画実行委員会と、本会誌の企画編集を行う編集実行委員会の連携の下で進められている。今回の特集「エネルギー分野における新材料」は、松木健次（シャープ）および後藤清（東京電力）の両委員の企画により平成9年2月に開催された平成8年度第2回講習会（マイドームおおさか）がベースとなっている。せっかくの貴重な資料を会員の皆様にもお届けしてはどうかという編集委員会委員長の発案で、企画実行委員も兼任している私と後藤委員にお鉢が廻ってきた。エネルギー分野における材料は多岐にわたり、1回の特集では到底網羅できるようなものではないが、上記の講習会の中心であった電力に係わる材料に触媒も追加させていただいた。

総論をお願いした東京電力（株）技術開発本部顧問の富山朔太郎氏は名古屋工業技術研究所と電子技術総合研究所の所長を歴任された方であり、電力技術の特殊性という観点から、極めて示唆に富んだお話をいただいた。技術概要としてだけでなく、材料開発の方

向をどう考えるかという視点からも、是非とも一読いただきたい内容である。

各論では、超電導工学研究所の腰塚直己氏に電力、エネルギー機器への応用に向けた高温超電導材料を、三菱重工業（株）高砂製作所の河合久孝氏にガスタービンへの適用に向けた高強度新鋳造合金などの耐熱材料を、大阪大学工学部の座古勝氏に構造物への用途に向けたCFRPなどの高分子系複合材料を、大阪工業技術研究所の宮崎義憲氏に燃料電池などに用いられる各種電解質材料を、大阪大学産業科学研究所の新原皓一氏にセラミックス系ナノコンポジットを中心とした高次機能調和材料を、また、物質工学工業技術研究所（現広島大学工学部）の竹平勝臣氏には天然ガス変換用の触媒をそれぞれ担当いただいた。

講習会用の資料作成、講義、特集のための原稿手直しと、多忙にもかかわらずご快諾いただいた先生方に深く感謝する。

石川 博

（大阪工業技術研究所 エネルギー変換材料部長）

協賛行事ごあんない

「エネルギーを有効に使う伝熱、燃焼技術 —きれいに燃やす、めいっばい使う—」講習会について

【協 賛（予定）】日本燃焼学会、日本伝熱学会 他

【日 時】1997年10月30日（木）～31日（金）

【会 場】神奈川サイエンスパーク

（川崎市高津区坂戸、Tel 044-819-2030）

【主な講師・題目】

- ・伝熱、燃焼技術：現状とこれからの期待
……芝浦工業大学工学部教授 越後亮三
- ・燃焼技術Ⅰ：厳しい環境下における燃焼
……名古屋大学工学部教授 竹野忠夫 他

【見学会】10月31日（金）

- ・川崎市新臨港ゴミ焼却プラント（交渉中）
- ・NKK製鉄プラント（交渉中）

【定 員】50名

* 申込・問い合わせ先

（株）日本機械学会

Tel 03-5360-3500, Fax 03-5360-3508